

はじめに

2010年10月、愛知県名古屋市で開催された「生物多様性条約第10回締結国会議(COP10)」では、戦略計画2011-2020の採択とともに、2020年までに生物多様性の損失を止めるための効果的かつ緊急の行動を実施するという20の個別目標である愛知目標が設定されました。「生物多様性国家戦略2012-2020」(2012年9月28日閣議決定)では、愛知目標の達成に向けたわが国の国別目標を設定しており、外来種対策の具体的な施策のひとつとして、河川における外来種の急速な分布拡大を踏まえた外来種対策の推進、外来植生等に関する調査研究および効果的な対策の検討を行うとしています。

本資料は、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課の協力のもと、全国の国土交通省地方整備局及び北海道開発局の河川事務所における外来植物防除の現状を把握し、より効果的な外来種防除対策に役立てることを目的に、平成27年8月に実施した全国の直轄河川事務所を対象とした外来植物防除に関するアンケート調査の結果をとりまとめたものです。

本資料が、河川(管理)において外来植物対策を推進する上での一助となれば幸いです。

最後に、本資料を作成するにあたり、資料の提供およびアンケート調査へのご協力を頂きました国土交通省河川環境課、各地方整備局及び北海道開発局の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成29年5月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室 室長 舟久保 敏